

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

| | |
|------------------|------------------------------|
| 報告年月日 | 平成 31年 3月 29日 |
| 研究・研修課題名 | 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 資格取得試験 |
| 研究・研修組織名 (所属) | 検査部 |
| 研究・研修責任者名 (所属) | 野畑亜希子 (検査部) |
| 共同研究・研修実施者名 (所属) | |

| | |
|-----------------|---|
| 区分 | <input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果() |
| 該当者名(所属) | 野畑 亜希子 (検査部) |
| 学会名(会期・場所)、認定名等 | 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 |
| 演題名・認証交付先等 | 日本臨床衛生検査技師会 |
| 取得日・認定期間等 | 2019.4.1～2024.3.31 |

目的及び方法、成果の内容

①目的

認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度 第5回認定試験（平成30年度）を受験し、「認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師」の資格を取得する。

現在の医療現場では地域連携によって医療情報の共有化が行われており、全ての医療機関で利用できる共用基準範囲や検査データの精度が求められている。認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度は学術的および実践的な精度保証、検査の品質について学識を有する臨床検査技師を要求している。この資格を習得することで精度保証の得られた検査データを報告し、この品質を維持、管理することに貢献できる。

②方法

第58回日本臨床化学会年次学術集会（2018年8月24日～26日）に例年併設されている指定研修会を受講する。また、同年12月15日に認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度 第5回認定試験（平成30年度）を受験する。

1. 指定研修会（2018年8月26日 名古屋国際会議場）
14時10分 オリエンテーション
14時20分 講義開始
18時30分 講義終了
2. 認定試験（2018年12月15日 東京工科大学蒲田キャンパス）
9時30分 受付
9時30分 オリエンテーション
10時00分 筆記試験開始
12時00分 筆記試験終了

● 出題方式

筆記試験は、出題数100題。問題解答は四者択一のマークシート形式であった。

③成 果

1. 指定研修会の受講内容

- 講義①：精度保証の全体体系
- 講義②：測定法のバリデーションおよび勧告法
- 講義③：精度管理と精度保証
- 講義④：基準範囲・臨床判断値、検査データの臨床的有用性
- 講義⑤：測定法のバリデーション実施のためのデータの処理技術

2. まとめ

今回の試験結果は合格であった。

臨床検査において臨床化学・免疫化学は欠かすことのできない分野であり、その重要性を尊重し、精度保証体制の確立と維持管理を担う技師の育成に向けて（一社）日本臨床化学会と共同した認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度が設置され、2014年から実施されている。

まず、指定講習会では精度保証の全体体系や国際規格などに触れ検査法の歴史や各国の特徴についても知識を広げた。

筆記試験の内容は臨床検査精度管理教本、臨床検査学講座検査総合管理学、指定講習会資料から出題された。精度保証国際規格、検査の勧告法やトレーサビリティ、測定法のバリデーション、管理試料を用いた精度管理法、患者データを用いた精度管理法、精度管理データ活用の手法、基準範囲、検査値に与える誤差要因などが問われた。日頃、検査業務をしている中で知識として習得している検査値に与える誤差要因からの出題が多かったように思う。計算問題としては①特異性、感度から陽性的中率を求める②添加回収率を求めるものがあつた。

ISO15189 要求事項や内部監査に関する出題もあつた。

本試験は教育的な立場の技師を育成する目的も含まれており、受験資格には日臨技生涯教育研修制度を修了していること、臨床化学・免疫の実務経験が通算5年以上あること、学会発表や論文投稿など受験資格に必要な50単位を取得していることなどを満たす必要があつた。今後の検査業務や臨床衛生検査技師会などで若い技師へ知識、技術的な伝達ができるよう取り組んでいきたいと考える。

当検査部ではISO15189を習得後、精度保証を維持管理していくことが求められている。今回、本認定資格習得にあたり得た知識を業務に役立てていきたい。

| |
|--|
| * 一般社団法人 日本臨床化学会、一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 認定【2019年4月1日】 |
|--|